

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年3月3日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年3月3日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【常用高台炉注水ポンプ(C) 吐出流量計の指示不良について】 常用高台炉注水ポンプ(C) 吐出流量計指示値が、前後の流量計指示値と相違していることより指示不良を確認。別計器にて流量監視は可能であり、ポンプ運転に問題なし。 今後、点検を実施予定。	GⅢ	2月25日
2	【地下水バイパス揚水井M付近での車両による挟まれについて】 地下水バイパス揚水井M付近で協力企業作業員が車両のエンジンを始動した際、車が急発進し、前方にいた協力企業社員が停車中の車両との間に挟まれた。 原因は、マニュアル車において、ギアが入っていたにもかかわらず、クラッチを唐突につないだことから、車両が急発進したものと判明。 救急医療室にて、右下腿打撲と診断。	GⅢ	2月27日
3	【6号機 非常用ディーゼル発電機(A)の潤滑油フィルターからの漏えいについて】 6号機 非常用ディーゼル発電機(A)の潤滑油フィルターから漏えいを確認。 原因は、潤滑油フィルターを清掃する際、隔離していない側の点検口を開放したことによるものと推定。 漏えいした潤滑油については拭き取り済み。 今後、再発防止対策を検討。	GⅢ	2月28日